

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和8年2月12日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 令和7年中におけるヒグマ出没等の状況と降雪期における出没の現状

鎌田地域課長から、令和7年中におけるヒグマ出没等の状況と降雪期における出没の現状について報告を受けた。

岡崎委員から「投票所周辺で足跡が発見されたという報道もなされている。冬眠時期でも油断できない状況が続いているので、関係機関と連携し、警戒を続けていただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「市街地周辺での目撃通報もあり、大変驚いている。渡島半島は、世界的に見てもヒグマの生息密度が高いと言われ、その対策は、当方面の重要課題の一つになっている。引き続き、適切な対応をお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 刑事関係主要事件発生・検挙状況①

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況①について報告を受けた。

岡崎委員から「全国的に、外国人技能実習生の労働力に助けられている自治体は多く、当方面も例外ではない。その反面、受け入れ人数を増やし続けることによるトラブル等の増加も懸念されるので、啓発や安全教育の更なる推進が必要だと感じる。」旨の発言があった。

(3) 刑事関係主要事件発生・検挙状況②

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況②について報告を受けた。

岡崎委員から「こうした事件が後を絶たないので、自治体がしっかりと関与し、複数人での管理を徹底して防止に努めて欲しいと思う。」旨の発言があった。

(4) 刑事関係主要事件発生・検挙状況③

齋藤委員長から「多くの重要な事件を解決していただいた。捜査には大変な苦労があったと思うが、引き続き頑張っていたいただきたい。」旨の発言があった。

(5) 交通死亡事故の発生

河奥交通課長から、交通死亡事故の発生について報告を受けた。

岡崎委員から「道路の除雪作業は、視認性が悪い夜間に行われることが多いと思う。日本海側は降雪量が多く、除雪作業は今後も続いていくと思うので、事故防止のための各種取組を継続願いたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「捜査によって、新たな法令違反等が認められる場合は、看過することなく必要な指導をお願いしたい。」旨の発言があった。

2 決裁・報告内容

(1) 警備業法違反に関する外部通報への対応経過について報告を受けた。

(2) 令和7年被疑者取調べ監督の実施状況（函館方面）について報告を受けた。

以 上